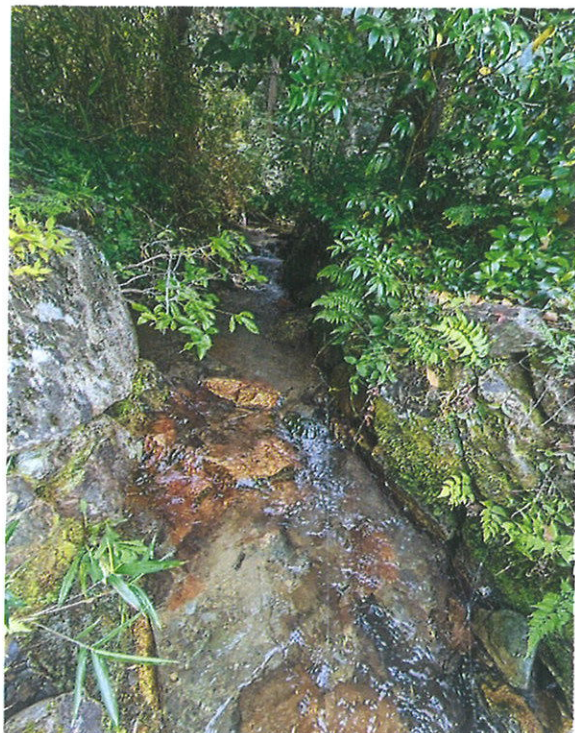




合鴨農法の鴨さんたちも田んぼに放され、まだ小さな苗の間をワチャワチャ嬉しそうに泳いでいました。

そんな牧歌的な風景をのんびりと愛でるその一方で

省力化を目的とした新しい技術の直播栽培の田植えも初めて目にしました。

田植えがはじまると、本郷の外から作業をするために通ってきている方を多く見かけます。

本郷に来て初めての田植えシーズン、そんなことも新鮮に感じます。

水のはられた田んぼが日に日に増えていく5月の初旬、集落を巡回しながら田んぼに落とす水の沢筋が目にとまりました。コンクリートで整備された導水路とは違う、大切に手入れされた自然のままの姿の水の道に癒されました。それにしても、それほど高くない山からこんな豊富な水が湧き出し、日本の豊かな資源であることが、安堵でしかありません。



歩行型田植え機を久しぶりにみかけました。



広瀬橋の側にあるこの石洞はどなたに聞いても用途がわかりませんでした。

覗き込むと 染み出した水が滴り落ちて手水くらい溜まっています。

最近聞いた話では、飲み水として使われていたそうです。

今は誰も使わず手入れもされていない様子ですが、

ずっと清い水を蓄え続けていて、昔の人の知恵と技術に関心します。

波野いきいきサロン

6月26日（木）岩国市高齢者支援課の前田さんによるフレイル予防講習会が開催されました。

2年ぶりの開催でしたが、前回参加された皆さん、復習しながら普段の生活を振り返ったり、新しい歯の手入れに関する内容を更新していました。

「食欲が落ちた。」などの相談をされたり、質問も次々と出てきて、健やかに過ごせるように、心掛けていらっしゃる様子がうかがえました。



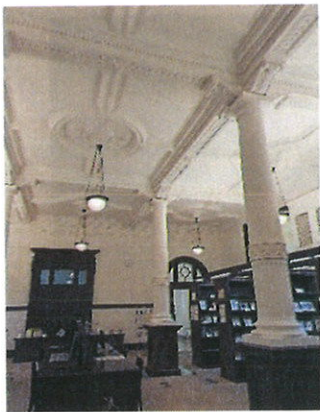
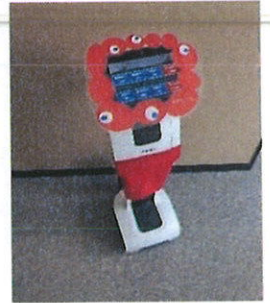
市町村アカデミー研修 報告and 宇塚さんぽ



5月12日～14日まで千葉県での地域おこし協力隊及び集落支援員初任者に参加してきました。全国から150名の参加がありました。6つの講習とグループに分かれての実践型ワークショップという内容でした。

質問や意見も闊達で、交流も積極的でモチベーションの高い方が多い印象でした。

広い研修施設を誘導してくれるのは mite (ロボット) くんです。ミャクミャクの仮装をしていました。



千葉での研修の帰り、国立国会図書館国際子ども図書館を游学してきました。

海外の児童図書はもちろん、古い木版の和紙に刷られた絵本から五味太郎まで展示してあり絵本や児童書の歴史も辿ることのできる図書館でした。

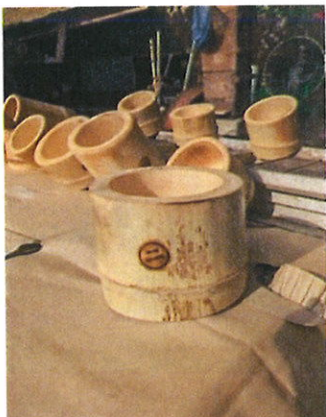


今昔問わず地方と東京の文化教育への投資力の圧倒的な差を垣間見ました。建築当時から既に免震装置が備えてあったそうです。明治時代に帝国図書館として建てられたこの館は上野公園の北東隅にあります。

本郷の花でありながら、なかなか出会えなかったエビネは宇塚地区のとあるお宅に咲いていました。お庭の水槽にはギギ（鰻に似た味）もありました。

ご主人から、川魚の仕掛けや網かごの話もうかがえました。他所からお知り合いを招いて川魚やジビエ肉を焼いて楽しまれているようです。

竹筒のBBQ用の器には焼印も！



発行：岩国市本郷支所 tel:(0827)75-2311
集落支援員 吉平 晴美